

8

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

四、五日前のことである。私は調べものの必要があつて、古い新聞の切り抜きを探し出した。そして、用が済んだので、丸めて捨てる前に裏にも目を通した。すると、そこにカモノハシに関する記事が載っていたのである。

御承知の通り、カモノハシはオーストラリアにしかない珍獣で、だから私もこの目で見たわけではない。どこかの動物園で見たような気がしているのは、絵本か写真で見てそんな気がしているのだろう。あるいは、川かわ瀬せかなにかと混同しているのかもしれない。

動物学者の説明によると、——カモノハシの口は文字通り鴨かもの嘴はしで、くちばしである。しかし、鳥とは違う。足が四本である。ところが、その足には水かきが付いていて、だから鴨に似ているのである。しかし、身体は羽毛でなくて、獣毛で被おわれている。(私は子供の頃、近くの海岸で漁師の網にかかったアザラシの仔この背中を撫なでたことがあるが、あんな感触かしらと思う。)ところが、カモノハシは卵を生む。しかし、卵からかえった仔は乳で育てるのである。だから、哺乳類ほにゅういの仲間である。ところが、単孔類ないし一穴目いちけつめと称されるように、大、小便と卵の出る所が同じという仕組みで、だから鳥とおなじである。……

言われてみれば、なるほどけつ(注)たいな動物である。それは、右の私の短い文章で「しかし」と「ところが」と「だから」を三回ずつも使わなくてはならなかったのを見てもわかる通りである。一般に、複雑なことを正確に説明しようとすれば、このようにひどい文章になることも避けられないのである。

(注) けつ(注)たい＝奇妙なさま。不思議なさま。

(阿部昭「単純な生活」による。)

一 ―線部「鳥とは違う」とありますが、ここでいう「鳥とは違う」カモノハシの特徴を、次の1から6までの中から三つ選びなさい。

- 1 足が四本であること。
- 2 足に水かきが付いていること。
- 3 身体は獣毛で被われていること。
- 4 卵を生むこと。
- 5 仔は乳で育てること。
- 6 大、小便と卵の出る所が同じということ。

二 ―線部「ひどい文章」とありますが、筆者は、この文章のどのような点について「ひどい文章」と述べていますか。次の1から4までのうち、最も適切なものを一つ選びなさい。

- 1 短い文章の中で、順接や逆接の接続詞を何度も繰り返して使用した点。
- 2 図や写真などの資料を用いずに、文章のみで動物の特徴を説明した点。
- 3 対立する考えを、文章の途中に括弧（ ）を用いて記入した点。
- 4 実際に見たことのないものを説明するために、新聞記事を引用した点。